

# ほろろき シルバー 人材センター

令和4年(2022年)  
秋号 No.128



## もくじ

- インボイス制度 / 地域福祉課インタビュー ..... 2
- コロナ配達支援 ..... 3  
佐々木室子氏の人生哲学
- 啓発特別企画 (掛布雅之氏講演) ..... 4  
私の趣味 (畑作り)
- 安全適正就業通信 / 事故発生状況 ..... 5  
大シ協安全大会報告 / 理事会だより
- ひろば / 秋の奉仕活動 / 交通安全講習会告知 ..... 6  
太田ふるさとまつりにドローン参加 / 啓発行事告知 / 編集後記

## 秋風を感じる 紅葉と水しぶき

(名張市 赤目四十八滝)

写真 倉谷 啓司 氏 提供

silver



常務理事  
宮野 正

## 来秋スタート「インボイス制度」 会員さんの配分金・消費税、従来通りで

会員・事務局それぞれが役割を全うしよう！

会員個々の就業に大きな影響を及ぼしかねない「インボイス制度」。その取り組み方針が7月度理事会で確定しました。そこで事務局の宮野常務理事に解説していただきました。

インボイス制度とは、消費税の申告納税に関する新たなしくみです。商品ごとに価格と税率を記載した書類を納税時の証拠として保存しておくもので、来年10月から開始されます。シルバーの会員さんも、影響を受ける可能性大の大きな制度改革です。

現状では、会員さんがセンターから受け取る配分金は、消費税が課税される課税売上です。また、センターが会員さんへ配分金を支払う際には、消費税を含んでいます。

通常であれば、その消費税は会員さんが税務署へ申告納税するべきものですが、ほとんどの会員さんは課税売上（配分金）が年間1,000万円以下の非課税事業者であるため、申告納税は免除されています。

そこで消費税のしくみについて、現状とインボイス導入後を比較しながら説明します。

### 1 現在の消費税納税の流れ

例えば配分金税込110円でセンターが仕事を受け、会員さんに支払う場合、下図のようになります。



- ①会員は、売上1,000万円以下の非課税事業者なので、センターから支払われた売上消費税10円を納税する義務はない。
- ②センターは、発注者から支払われた売上消費税10円から会員へ支払った支払消費税10円を控除して10円-10円=0円となり納税額は発生しない。  
※会員が消費税を納税していなくても、支払消費税を売上消費税から控除（仕入控除）できます。

### 2 インボイス導入後の消費税納税の流れ

新しい制度の下では、消費税の仕入控除を行うことができるのは課税事業者との取引に限られます。非課税事業者である会員さんの配分金にかかる消費税は、センターがこれまで行っていた仕入控除ができなくなるため、新たな納税額10円が発生します。センターは会員さんにも消費税を支払い、税務署へも納めるという二重払い状態になります。

従来のようにセンターが仕入控除を行うためには、会員さんが税務署へ課税事業者の登録を、センターに仕入控除に必要な書類を提出することが必要になりますが、この煩雑な手続きを会員さんに行ってもらうことは、現実的ではありません。

新制度の開始までには経過措置がありますが、最終的には年間で数千万円の新たな税負担が発生し、公益社団法人であるセンターには、それをまかなう財源の余裕は無く、運営に支障をきたす恐れがあります。

そこで、その財源を捻出するため、センターによっては、会員さんへ支払う配分金から消費税相当額を減額しようとする動きもあります。しかし当センターは、発注者へ事務費の増額を依頼し、それを財源に充てる方向で進めます。

- 結論として、事務局は、
- ①会員さんには課税事業者の登録を求めない。
  - ③会員さんに支払う配分金を減額しない。
- そして会員の皆さんには、負担増となる発注者のご理解がいただけるよう、現状のお仕事に誠心誠意取り組むことが求められます。会員、事務局がそれぞれの役割を全うし、新しい制度を乗り越えていきましょう。

## “こんにちは 地域福祉課です”

市とのパイプ役

新陣容で意見交換

## 地域福祉の向上に共同ワーク



左から肥塚暁子課長  
山本友里子係長

今年度から、新しくシルバーとの連絡調整を担われている地域福祉課の肥塚、山本両氏に抱負を伺いました。

地域福祉課では、高齢者の方々をはじめ市民の皆さまが地域で支え合い、福祉の向上を通じて生き生きと元気に暮らせるまち作りに取り組んでいます。特に高齢者の皆さまには、「居場所」と「出番」作りが重要になっていきます。とはいえ、市だけでできることには限りがあります。やはり地域の方々に、地域を支えていただくことが理想です。そうしたなか、高齢者の方がシルバーに会員として登録

され、活動されていることはすばらしいことだと思えます。

特に、収束の見えないコロナ感染者の自宅療養者支援については生活支援パックの選定から配送までの細かい気配り、人練りの問題など大変なご苦労をおかけしており、地域福祉への貢献は多大なるものがあります。

また、訪問介護やこども食堂などシルバーさんに担っていただいている分野は多岐にわたります。当課としてもできる限りのサポートをさせていただきますので、今後とも地域福祉の充実、向上に向けて共に頑張りましょう。

（聞き手 川野正照）

# コロナ配達支援

## 会員・事務局シルバー精神で!!

新型コロナウイルス感染症の自宅療養者や濃厚接触認定者など、外出自粛のため買い物に行けない市民に、食料品や日用品を届ける配達支援サービス。この9月で1年半が経過しました。

事務所の通路や2階の会議室が段ボールで埋まっています。は、いつもの光景になっています。今年に入ってからの第6波、7月からの第7波と感染力の強い変異ウイルスの出現で感染者が増え、需要が増大したから。スタート時からの総配達支援件数は、この8月までで6500件。うち6割の約4000件が4月以降です。

市民から市へ寄せられた配達

☆

## 迅速・丁寧な対応に感謝です

シルバー人材センター様には、コロナ禍でも市民の皆さんが支障なく療養、日常生活を送れるよう日用品や食料品、乳幼児用品の配達に取り組んでいただいています。昨今の感染拡大に伴い、膨大な仕事量になっている中、翌日配達を基本に、迅速かつ切れ目のないサービス提供の体制を維持し、感謝申し上げます。利用者アンケートでも、シルバーさんの迅速かつ丁寧な対応に、好意的な意見が多数届いております。

今後さらに円滑な連携を、と考えております。よろしく申し上げます。

茨木市福祉部 福祉総合相談課  
参事 岩本哲志



2階ロビーでの箱詰め作業

要請に基づき、必要な商品と数量を事務局で発注します。店舗からの商品納入は作業の都合で2階となるため、これまたひと苦勞。日用品は世帯単位、食品は家族の構成人数分を箱詰めし、車で該当者宅へ置き配で届けます。乳幼児がいれば、粉ミルクや離乳食、絵本、折り紙などの手配が加わります。

午前中の申し込みで翌日には届けるというハードスケジュール。現在、協力願っている会員さんはおよそ30人。商品の受け入れ、梱包、配達を担当。事務局は仕入れ(発注)、人員配置(シフト表作り)、在庫管理と総動員です。「シルバーの理念である「共働」「共助」の精神です。会員・事務局が一丸となつて、市民をサポートするしくみです。事務局の宮崎職員はそう締めくくりました。

## 医療系スペシャリスト藍野大学での 佐々木室子さんの人生話に、 学生 大感激

コロナ禍の中、高齢者施設での実習ができないために、学内講義(高齢者の話を聴く)が組まれ、3年来の交流のある佐々木室子さんに依頼が寄せられました。司会進行兼任の担当教授との対話形式で、約1時間、看護学科の学生を相手に佐々木さんの人生が語られました。

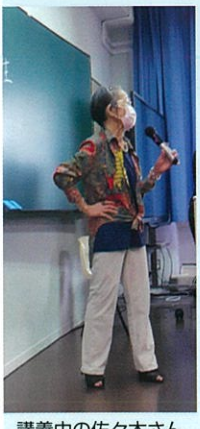


受講する学生

昭和の結婚が家中心であった時代背景の中、厚い壁を乗り越えて離婚した話から始められたその後、上京して出会いがあり再婚。そして、資格を取得。夫婦でお互いの夢をかなえるべく、約48年間、愛し愛され、二人三脚で確実に夢を現実のものとなりました。

9年前書道家のご主人が亡くなり、つらく淋しい中を、前向きに心理学の勉強を始めた佐々木さん。また人に役立つ仕事と80歳でシルバーにも入会。人生のモットーとしたことは人の気持ちを感ずる。

辛い時でもくじけない。  
・チャレンジ精神を持つ。  
・没するまでおしゃれを。  
・愛し愛されること。  
と5つにまとめられました。



講義中の佐々木さん

後日127人の学生のレポートをまとめた冊子が送られた。若い方たちがどのようなことに感じたか、一部紹介します。

ご協力ありがとうございました。  
(橋本由紀子)

現在も朝1時間、通学児童を見守る仕事を継続!

普及啓発特別企画  
ミスター・タイガース講演

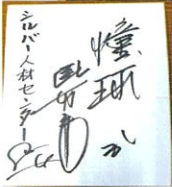
今にも生きる「基本に忠実」「努力」

「会員の拡大と就業拡大」を目的に実践されている普及啓発活動ですが、昨年度からはセンターの説明会と特別イベントをセットで開催し、注目度を高める戦略をとっています。古典芸能の「能」鑑賞、元気なシニア世代のアナウンサー、桑原征平氏の講演に続くもので、8月11日に福祉文化会館で開かれた第三弾には、約1000人の市民、会員が出席しました。

今回は、往年の「ミスター・タイガース」こと掛布雅之氏による講演です。野球人としての生い立ちから、現役時代の貴重なエピソード、二軍監督時代の若手育成、そして今シーズンの一進一退するタイガースの現状など、あつという間の80分間でした。講演後の質疑応答にも丁寧にご答えていただき、掛布さんの人柄を感じさせるイベントとなりました。



熱弁を奮う  
ミスター・タイガース  
事務所入口に掲示された色紙



(掛布語録から)スピーチより

★基本に忠実 個人技を高めること

野球を始めたのは、高校野球の監督だった父親の影響です。最初に言われたのは、チーム練習も大事だが、一人でもできる練習を継続することが大切。野球は団体スポーツだが、個人プレーの集合。結局は自分の技術を高めることがチームのためになる。基本に忠実にプレーすること。当たり前のことを当たり前にすることが大切。

★野球の楽しさを覚え次に怖さを知る

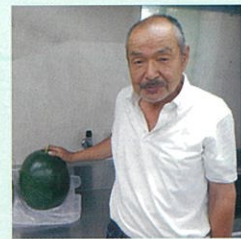
テスト生同然でプロの門を叩き、ドラフトも下位で入団。それでも、成績を残して1軍に定着し、入団3年目にはあこがれだった長嶋、王選手と同じグラウンドに立ち、ベンチには田淵選手がすわっている環境に。練習はきつかったが、それ以上に野球が楽しくて仕方なかった。年俸も上がり、この生活を手放したくない。来年も野球で結果を残すしかない。重圧を感じ始めたときに、野球をすることが怖くなった。それを振り払うには、練習に打ち込むしかなく、練習に終わりはなかった。

▲講演を終えて▼

数々の好成績を残せたのも、全ては地道な努力、練習があつたからこそ。二軍監督時代は、一人でも多くの若手を一軍に送り出そうと、育成に取り組み、温かい目で見守ってこられたことがよくわかりました。講演終了後の質疑応答でも、「トラファーン」の熱心な質問に、丁寧に答えていただいたのが印象的でした。(岩井洋子)

私の趣味

手探りで始めた畑作り  
川畑佳弘 さんに聞く



こども食堂に寄贈されたスイカと一緒に川端佳弘さんは、広報いばらきで会員募集をしているのを見て、昨年入会され、運転班で就業中です。

こども食堂にスイカを寄贈されたことが縁で、今回お話を伺うことになりました。

▼野菜作りのきっかけは？

広報いばらき「農業はじめ隊」の募集に応募して、12〜13家族一緒に受講、体験、楽しく収穫したことがきっかけです。

▼過去に野菜作りの経験は？

元々兼業農家で、野菜作りもしていました。プランターでも夏野菜など、夫婦で育てていました。

▼なぜ畑を作ったのですか？

プランターでは、野菜の育ちが良くないです。畑だと自然の光と風のおかげで、できれば全然違うんです。

▼今の畑との出会いは？

使っていない畑があると、地主さんから声をかけてもらい、草刈りから始めることになりました。

▼こども食堂のスイカはこの畑？

はい、そうです。10kg級のスイカをこども食堂に。お世話になっている地主さんにも持って行きました。

▼野菜作りの勉強法は？

ユーチューブで調べ、わからないことは尋ねる。試行錯誤、まだまだ手探りなんです。

野菜の成長記録は、スマホに写真・動画・音声などで残しています。

▼これからの収穫予定は？

黒枝豆とサツマイモです。黒枝豆は香り良く、濃厚な味で、餡にして餅に入れるとおいしい。サツマイモの収穫は家族の楽しみで、大きいイモが掘れると、みんな大喜びです。

▼今後の目標は？

「共働(共同)農園」をやりたい。畝と畝の間に広い道があつて、スッキリ整った畑を作りたい。みんなで植え、育て、収穫する。自分がどこまでできるか楽しみです。

▼最後に健康の秘訣は？

夫婦で歩くことと、魚中心の食事で、お酒は程々にしています。

本日はありがとうございました。(聞き手 井川恵子)



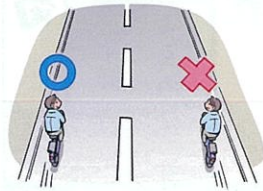
耕運機で畑を耕し秋野菜の植え付け準備

子どもはヘルメット着用

車道が原則



左側通行



正しいルールを知り、安全に自転車を利用しましょう！

(西田純子)

- ⑤ 子どもはヘルメット着用
  - ・傘さし運転の禁止
  - ・運転中の携帯電話の禁止
- ④ 安全ルールを守る
  - ・飲酒運転禁止
  - ・二人乗り禁止 並進禁止
  - ・夜間はライト点灯
  - ・交差点での信号遵守と一時停止
- ③ 歩道は歩行者優先
- ② 車道の左側を通行
- ① 自転車は、車道が原則 歩道は例外

知っていますか！

自転車安全利用五則

安全適正就業通信

### 事故発生状況

(令和4年4月～令和4年7月)

発生日	職種	就業・途上	事故の種類	事故発生状況
5月1日	駐車場管理	途上	傷害(打撲)	交差点で右折車にはねられ、打撲
5月8日	食器洗浄	就業中	傷害	棚上の食器がごが頭上に落下、負傷
5月21日	清掃	途上	骨折(転倒)	歩道段差にハンドルを取られ転倒、左足付け根を骨折
7月14日	除草	就業中	傷害(物損)	除草中、石が走行中の車に飛び、ガラスを破損

● 新型コロナウイルスに注意！  
 感染対策を万全にし、発熱等の体に異変を感じたら、医師の診察を受けてください。  
 ● 換気をする。  
 ● 人と人との距離をとる。  
 ● 密接した会話や発声を避け、十分な距離を保ち、マスクを着用する。  
 ● 消毒を徹底する。  
 ● なるべく公共交通機関の利用を避ける。  
 自分自身の行動が大切な家族や同僚などに影響を与えるということを今一度強く認識していただくことが重要です。  
 (西田純子)

### 参加報告

### 大シ協 安全就業大会

7月19日、大シ協主催の安全就業大会が開催されました。令和3年度の事故発生状況に関する報告があり、「中でも午

### 虚偽の報告は厳禁!!

草刈機で除草作業中、走行中の車に石が飛び、窓ガラスを破損するという事故が発生しました。使用禁止箇所、使用禁止の草刈機を使い事故が起きましたが、その事実を隠すために事故発生時に虚偽の報告をしていたことも判明しました。

理事会で除草業務のリーダーの一人として反省と再発防止の決意を込めて今回の事故、虚偽報告について発言しました。

作業前の安全ミーティングで確認していたにも関わらず、このような事案を起してしまいました。被害者の方は事実に基づいた対応

と誤っていたことが虚偽に基づいたものであったことに許し難い心情であったと考えられます。

いかなる理由があっても、虚偽の報告は厳禁です。真実を報告することを徹底しましょう。

(理事・戸田博)

前中の就業途上での自転車事故が半数以上を占めている」ことが特に気になりました。仕事日の朝は慌てて家を出ることも多いかと思いますが時間と心に余裕を持って行動するようにしてください。  
 (西田純子)

### 理事会だより

令和4年度第4回理事会が7月29日に開催されました。

#### ▼議題

- 事務費規程の一部改正について
- 個人情報保護に関する規程等の廃止・制定について
- 文書規程の一部改正について
- ▼報告事項ほか
- 諸般の報告
- 正会員の入会について
- コロナ支援事業について

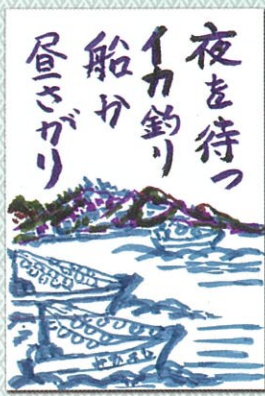
今年度の新任理事を含めてリモート会議が開催されました。

猛暑、コロナ感染拡大など厳しい生活状況の中、シルバー人材センターの会員としての自覚を認識しながら健康管理に留意し、業務を推進していきたいと思えます。

(野畑芳子)

皆さんの仲間  
(会員数)

8月31日現在	
男	1,066人
女	538人
計	1,604人



会員 浅川八重子

### 絵手紙



亡母の  
 細綿を縫合せ身にベスト  
 今なほ温み母と刻む幸せ

会員 田中そや子

### 短歌



雨ひと日そのあとさきの秋の雲  
 会員 平野 盈司

### 俳句



## ひろば



### 秋の清掃奉仕 普及啓発活動に参加を!

10月18日、センターの普及啓発活動として、中央公園前元茨木川緑地の清掃活動とセンター啓発チラシを配布します。  
 2年ぶりの開催となった昨年に引き続き行うものです。センターの活動を大いにアピールできますよう、多くの方の参加をお待ちしています。



### 太田ふるさとまつりに参加

8月6日(土)に太田ふるさとまつり2022が太田小学校グラウンドで開催されました。当センターからは、缶バッジ

販売・バンド演奏・ドローン撮影で参加しました。また、前々日にテント設営作業15人、翌日に会場のテント撤去作業15人の合計30人の会員が作業にあたりました。

缶バッジ作りは前回に引き続き大盛況で、子どもたちに喜んでもらいました。

バンド演奏は夕方に4曲、夜の盆踊りの時に1曲披露し、シルバーのPRに貢献しました。



太鼓演奏を楽しむ  
大勢の来場者(ドローンで撮影)

### 交通安全講習会が開催されます

11月14・15・17日に交通安全講習会が福祉文化会館文化ホールにて実施されます。昨年に引き続き、茨木警察署とサイカパーキング(株)の協力のもと、自転車シミュレーターを使用した講習会となります。

また、交通安全講習会は3年に一度は受講する必須講習会となっております。就業の提供条件となっており、受講対象者は必ず参加してください。

今回、新たにドローン撮影の依頼もあり、ドローンクラブから会員2人が参加。ドローン機体周りの安全確保やまつり参加者への注意喚起の仕事をしていただきました。ドローンで空撮

した画像をまつり実行委員会へ納品した際、大いに喜ばれました。

今回、ボランティアで参加していただける会員さんもいましたが、コロナウイルス感染状況を鑑み、参加を控えていただきました。来年は是非とも会員と力を合わせて参加できればと思いますので、皆さまのご協力をお願いします。

(萩原啓輔)

### 冬の普及啓発特別企画

「ズンビと落語のシルバー夜会」が福祉文化会館で、12月23日に開催されます。今回は、門真市シルバー人材センターとの共同企画で、同センター制作のズンビ映画の上映のほか、会員を含むアマチュア落語が披露されます。シルバー人材センターの普及啓発と会員拡大を目指します。

### 「いつい未来塾」来所

NPO法人茨木シニアカレッジの「地域活動体験コース」の約20人が、当センターに来所されました。シルバーの活動などに理解を深めていただく良い機会となりました。

### 編集後記

感染者などの自宅療養者への配達商品が、陽性者急増でセンターの会議室や廊下などに山積み状態。そんな中、「今日の編集作業はどの部屋で?」

広報委員会の活動も少なからずコロナ禍の影響を受けたことを実感した「秋号」でした。

今号には、佐々木室子さんの講義を受けた学生たちの感想が載っています。若い世代の人たちの道標のひとつに加えてもらえたら、と願っています。

(土生潤子)